

【授業構想】 「オリンピックとスポーツの良さ」学習指導案（小学校）

- 1 対象 ○○小学校 5年○組 男女 名
- 2 単元 総合的な学習の時間 「スポーツの良さを考える」
- 3 本時の目標
 - ① オリンピック・パラリンピックの歴史を通して、それぞれの大会が目指している理念を理解することができるようにする。
 - ② スポーツの良さや価値には「尊敬」「友情」があることを理解することができるようにする。
- 4 本時の展開

	学習内容・学習活動	教師の支援・指導上の留意点
つ か む	1. 本時の学習のねらいを理解する。 2. オリンピッククイズに挑戦する。 ・近代オリンピックの誕生 ・オリンピック・パラリンピックの考え ・日本人選手の活躍 ・1964年の東京オリンピック大会	・オリンピッククイズは全員挙手方式で行う ・知らない事実もあるので、穏やかな雰囲気を進める ・プロジェクター等を利用しながら、解説をする。
ひ ろ げ る	3. 第23回ロサンゼルス大会 柔道の山下選手とラシュワン選手の決勝戦の事例を読み、発問に答える。 【発問】 問1. ラシュワン選手の行為に賛成しますか 問2. 山下選手とラシュワン選手の戦いから、どのような言葉がふさわしいですか 4. 第11回ベルリン大会 陸上競技 男子棒高跳びに出場した西田、大江両選手の「友情のメダル」の事例を読み、発問に答える。 【発問】 問1. 1回目に成功した西田選手が2位で、大江選手が3位とした日本チームの提案の理由は次のどれだと思いますか。 ①西田選手が1回目に成功したから。 ②西田選手のほうが先輩だから 問2. あなたは西田選手、大江選手のどちらの選手が2位だと思いますか。	・自分の考えに基づいて答えるよう伝える。（全員挙手とする） ・問2については、ワークシートの中から、いくつでも選んでよいこととする ・自分の考えで良いので、積極的に挙手をするよう伝える。 ・なかなか思いつかない児童に対しては、つまづいているところを個別にアドバイスする
ま と め る	5. 「友情のメダル」についての先生の話聞いて、心に浮かんだことや山下選手とラシュワン選手の戦いで感じたことを整理して、「スポーツにはどのような良さ」があるのか考える。 6. 先生の話聞き、「スポーツの良さ」について自分なりにまとめる。	・個々の生徒の意見を板書し、出された意見をまとめ、スポーツの良さや価値につなげ、まとめる。